

草加市倫理法人会(2月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。
会社が良くなる。
不況に負けない。

二月五日(木) 第八八七回

◇ 講師 青柳 優

草加市倫理法人会 会員
(株)筑波 代表取締役

◇ テーマ 「そつかと私」



葉の輪読、第十七条にあつたとおり、草加は自分の人生の劇場だと思つてゐる。人前で話をするのは控えようと思つてゐたが、熟女のささやきに勝てず、講話させていただきます。生まれは東京の葛飾、父親が千住に建具屋を開く。昭和四十三年に草加に移り住んだが草加に知人は一人しかいなかった。都内の私立校に通つてゐた時、「どこからきてゐるの」との問いに「千住から」と答えると「汚れた千住からか」と言われ、自分たちの住む所は作りは遊び感覚でやつてゐる。義務とか権利でやつてゐると続かない。私は草加に五十年住んでゐるがよそ者だと思つてゐる。よそ者、馬鹿者、若者が必要。金のある奴は金を出せ、なければ汗を出せ、私はいくつも汗を出してやつていくつもりだ。

早川 純一 記

二月十二日(木) 第八八八回

◇ 講師 深津 孝

吉川・松伏倫理法人会 会長
三貴 代表

◇ テーマ 「変身」



今日は最良の一日とはじまりました。また、今回は八八八回と末広がりに感謝です。テーマの「変身」は自分が倫理と出会い身が変わつたことから作られました。とても芸能化溢れる、葛飾柴又の出身で、現在は越谷で三貴という、飲食店を経営されてゐます。屋号の由来は、生まれ、家庭、仕事に感謝という意味です。草加店の閉店の時には多くのお客様から花束を頂き、とても感謝しておられました。食にこだわり、人に良いものを与える者から、一切化学調味料を使わない事を徹底して頂きました。これからは先祖に感謝して、神様をお願いするのはなく、背中を押していきまう、そして日々の感謝とお参りを大切にしていきたいと思います。夢は見るものではなく叶えるものです。

白井 義臣 記

二月十九日(木) 第八八九回

◇ 講師 井手 大喜

草加市議会議員

◇ テーマ 「支える人を支えることの必要性」



昭和六十年、草加市谷塚生まれの二十九歳、自らの介護経験から同じ境遇の方々の支援をしたいと、平成二十二年、草加市議会選挙で初当選をしました。家族は今、核家族、単身化し、構成人数の減少により、家族の問題解決能力が低下し、支え手も不足しています。一人あたりの負担増につながり、家族機能が弱体化しています。さらに家族は縮小し、単身高齢者世帯が増加しています。これからの福祉支援の在り方は、これらの問題に対処しなければなりません。学生の頃から脳梗塞の父親を母と二人で介護し、想定外の「若者介護」という大変つらい経験をしました。こうした若者介護者を支援するために今後の福祉施策は「支援対象者を個人から家族へ」「縦割りの支援からの脱却」「支援が必要なる人を見落とすことのないように」と変わらなければならぬと考えています。

吉岡 明夫 記

二月二十六日(木) 第八九〇回

◇ 講師 原田 善征

(一社)倫理研究所 法人アドバイザー
(株)ホテル原田 代表取締役

◇ テーマ 「人生詩いたとおりの花が咲く」



スーパードバイザーになって初めて講話したのが、この草加です。経営者は百年後を見据えて、物・行動・心の備えをする必要がある。頭で覚えたものでは動かない。体で覚えたもので動く。宮城県倫理法人会を五年間務めた。千五百社を二千社にする目標を託され、一年で千二百に減った。役員七十五名を富士研に集め、二千社を目標にしている事を始めて公表した。富士研の雰囲気のおかげで全会一致で決まった。とてつもない苦難に会った人は実践する。実践すると悪い考え方が良い考え方に変わる。人をまとめるためには根回しの大切さを学んだ。話の通らないところで学ぶのも大切だ。

池田 成希 記



モーニングセミナー
毎週木曜
AM6:00~7:00

(会場) 埼玉屋旅館内
草加市高砂1-10-13
Tel 048-922-4141

(お問い合わせ先) 草加市倫理法人会 事務局
八潮市柳之宮196-14 (有)アイビルド設計内
Tel 048-998-8868 (HP): <http://www.rinri-soka.org/>